

アジアと世界の活力を呼び込む

クルーズ観光の拡大

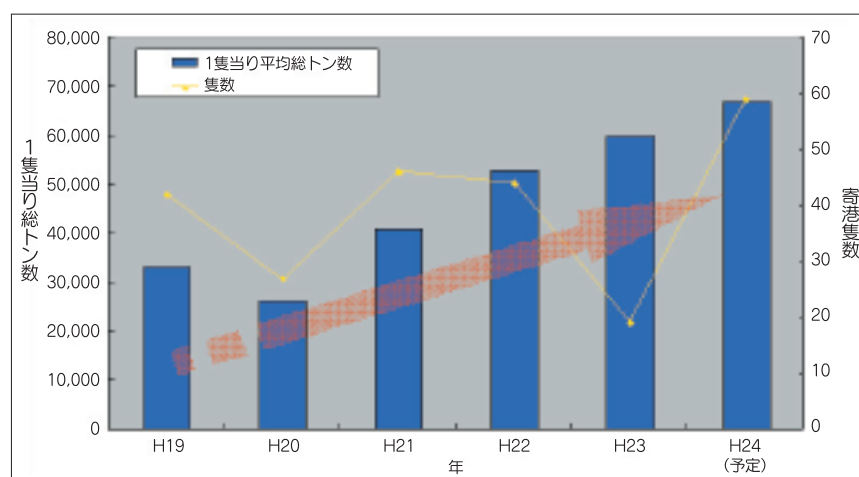
(1) 長崎港松が枝国際観光船埠頭の整備

長崎港は、これまでに数多くのクルーズ客船を受け入れている日本を代表する国際観光港です。平成24年は、上海航路が就航するとともに、10万総トン級を越えるクルーズ客船の寄港が予定されるなど、当初想定を上回る利用が見込まれることから、国際ゲートウェイ（玄関口）機能の更なる強化が求められています。このため今年度は、旅客ターミナルの増設と連絡通路等の整備を行います。

【事業主体】 長崎県
【関係地域】 長崎市
【事業期間】 平成20年度～平成24年度（完了予定）
【進捗率】 81%（平成23年度末）
【総事業費】 約27億円
【平成24年度事業内容】
事業費：4億8,500万円
施設：旅客ターミナル、連絡通路等



大型化するクルーズ客船



長崎港のクルーズ客船は、平成19年に対して寄港隻数が増加し大型化が進んでいます。

また、国際定期旅客船が就航し、ターミナル機能の強化が早急に求められています。



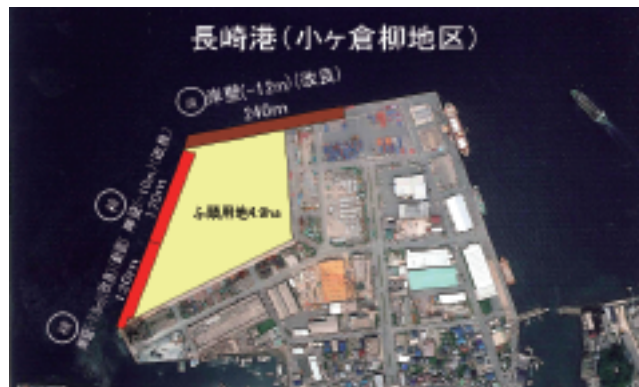
▶ 県産品の輸出強化と企業の進出支援

(1) 長崎港小ヶ倉柳地区貨物埠頭の整備

長崎港は、外貿コンテナの定期航路の他、発電プラント製品の輸出等に使用される国際貿易港です。近年、国際海上輸送手段のコンテナ化が急速に進んでいる中、東アジアへ距離的に近いメリットを活かし、近隣の外貿港湾との競争力を強化するため貨物埠頭の再編整備を行います。

老朽化した岸壁の改良工事に合わせて、ふ頭用地の不足を解消し効率的な輸送体系を確立するため、貨物埠頭を再編し、地域の経済や産業を支える機能の強化を図ります。また、防災拠点港としての役割を担うため耐震強化岸壁を整備します。

- 【事業主体】 長崎県、国土交通省
- 【関係地域】 長崎市
- 【事業期間】 平成19年度～平成25年度完成目標
- 【進捗率】 93% (平成23年度末)
- 【総事業費】 約110億円
- 【平成24年度事業内容】 事業費:14億2,900万円
施設:岸壁(改良)、ふ頭等



平面図

▶ 長崎港の将来計画

(1) 長崎港港湾計画の改訂

長崎港は、大型クルーズ客船の入港が増加していることや、上海航路が就航するなど、取り巻く社会情勢が大きく変化していることからH11に策定した現在の港湾計画を見直す必要があります。平成23年度は、『アジアとの文化・観光・産業の新たな交流軸「新アジア軸」の核となる長崎港』を目指し、長期構想を策定しました。平成24年度は、この長期構想を基に、所要施設を位置づけるための航行安全検討委員会等を行い、年度中の港湾計画の改訂を行います。

